

令和4年度
新時代に対応した高等学校改革推進事業
(創造的教育方法実践プログラム)

北海道伊達開来高等学校

文部科学省から
文部科学省から

1. 事業の趣旨

教科等横断的な学びの実現による資
質・能力の育成の推進のため、遠隔・
オンライン教育や質が確保された通信
教育を活用した新たな方法による学び
を実現する。

2. 事業概要

次の(1)又は(2)に着目し、同一設置者の学校間のみでなく、他地域における大学や研究機関、国際機関等の関係機関からの**同時双方向型の授業を取り入れたカリキュラム開発**を行い、新しい時代の学びを創造する。

- ◆ (1) Society5.0に対応する先端的な学び
- ◆ (2) 自分のペースでの学習

3. 取組内容

① 遠隔・オンライン教育（質の高い通信制教育を含む）を活用し、新しい教育方法により、教科等横断的な学びを実施するカリキュラム開発を行うこと。

また、検討するカリキュラムが全国的に見て先進的であり、他の高等学校における高校改革のモデルとなるものであること。

3. 取組内容

② コンソーシアムを置く等、教科等横断的な学びを
実践するための関係機関等との連携協力体制を整備
すること。

③ 本事業の目的を踏まえた成果目標を設定し、毎年
度評価を行うとともに、事業3年目の最終評価にお
ける確実な成果検証を行うこと。

④ 研究成果普及のための取組として随時学校のウェブ
ページ等で実施事業や研究成果を発信するととも
に、研究成果報告会を行うこと。

本校の取組

本校の取組

探究活動の充実

○ これまでの探究活動

- ① 課題を調べる
- ② 調べた課題に応じてテーマを設定する
- ③ テーマに基づき課題解決策を検討する
- ④ 課題解決策をまとめ発表する

⇒ **インサイド・アウト(課題解決型探究活動)**と定義

探究活動の充実

○ これからの探究活動

インサイド・アウト(課題解決型探究活動)



アウトサイド・イン

(未来ソウゾウ“想像・創造”型探究活動)

「ゴールをイメージし、そのゴールに向けて何ができるかを探究する活動」と定義

取組概要

- オンラインを活用して高等教育機関から講義を受けるなど、より専門的な教育を受けられる機会を設ける。
- 生徒が設定した課題に応じて、継続的に専門家と研究協議を行い指導助言が受けられるよう、様々な高等教育機関等との連携体制を構築する。
- STEAM教育を柱とした教科等横断的な学習を推進するカリキュラムを開発する。

推進体制

- 全校的な取組全教科及び全分掌で担当することを基本
- 特色ある教育推進課、教務課、図書情報課を本事業の主担当分掌
- 3分掌の担当者のほか、公募による数名の教員を加え、校内に「カリキュラム開発推進プロジェクトチーム（カリキュラムPT）」を設置
- コーディネータの配置（関係機関との連絡調整）

管理職

総務

教育活動

生徒支援

庶務

進路指導

特色ある
教育推進

教務

図書情報

生徒指導

生徒会指導

教育相談

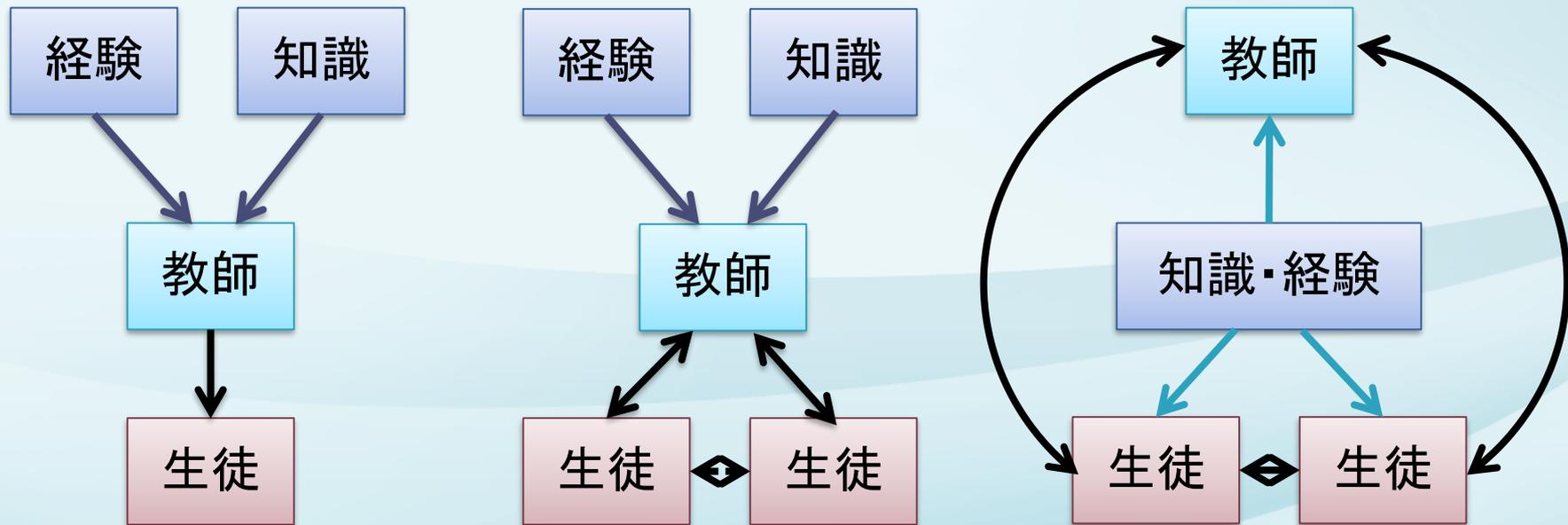
コーディネータ
職員(有志)

カリキュラムPT

連携イメージ

連携イメージ

学びのパラダイムシフト



指定事業における学び

